

## 広域化・共同化計画 進捗管理表（試行版）の使用方法

### 1. はじめに

ファイル名は「都道府県No\_【都道府県名】\_R●\_進捗管理表」に変更してください。

※翌年度以降の対応は P.6 を参照してください。

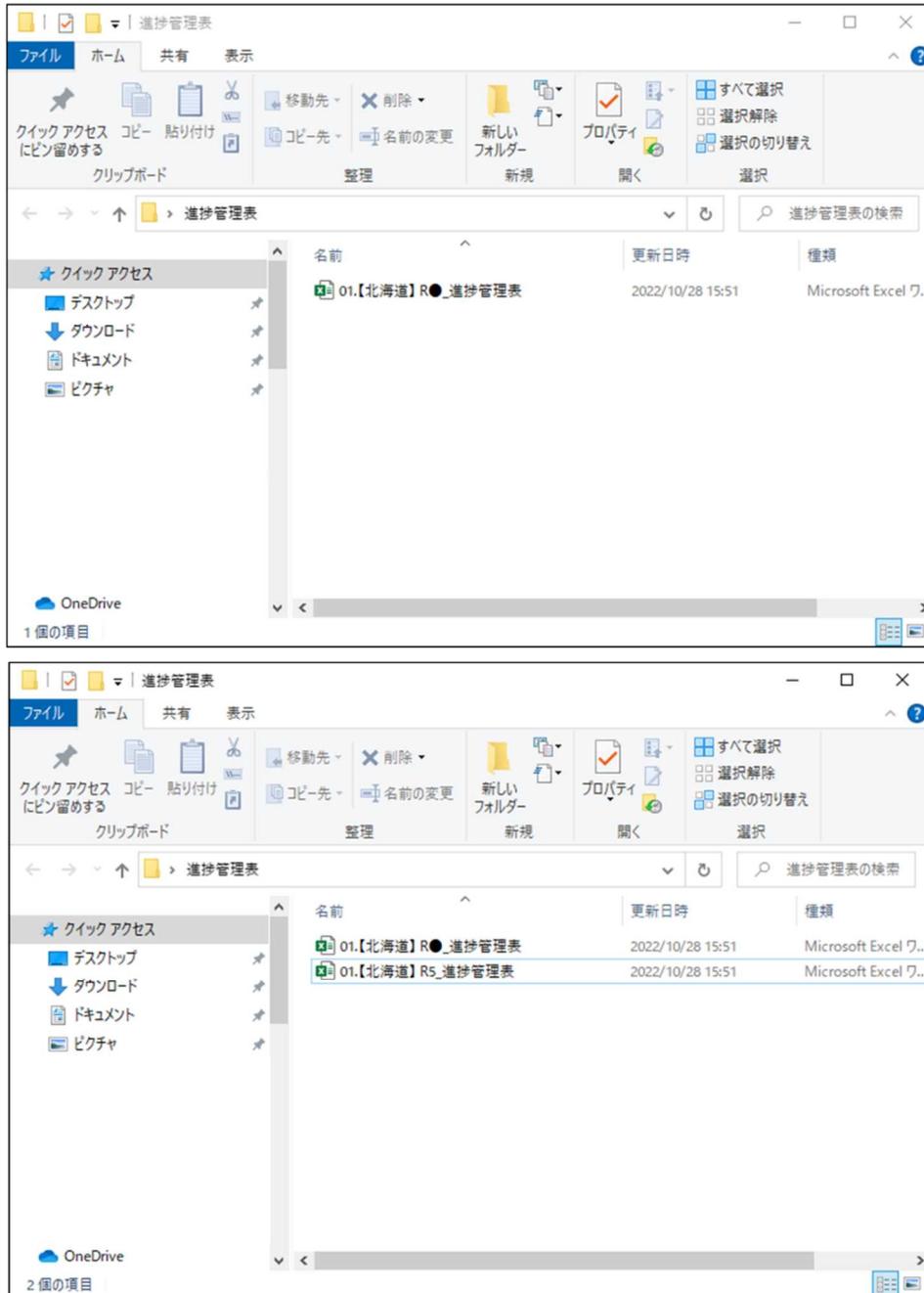


図 1 ファイルの管理方法

2. シートの説明

- ・ **入力シート** . . . . 取組状況を入力するページです。主にこちらのページを使用します。

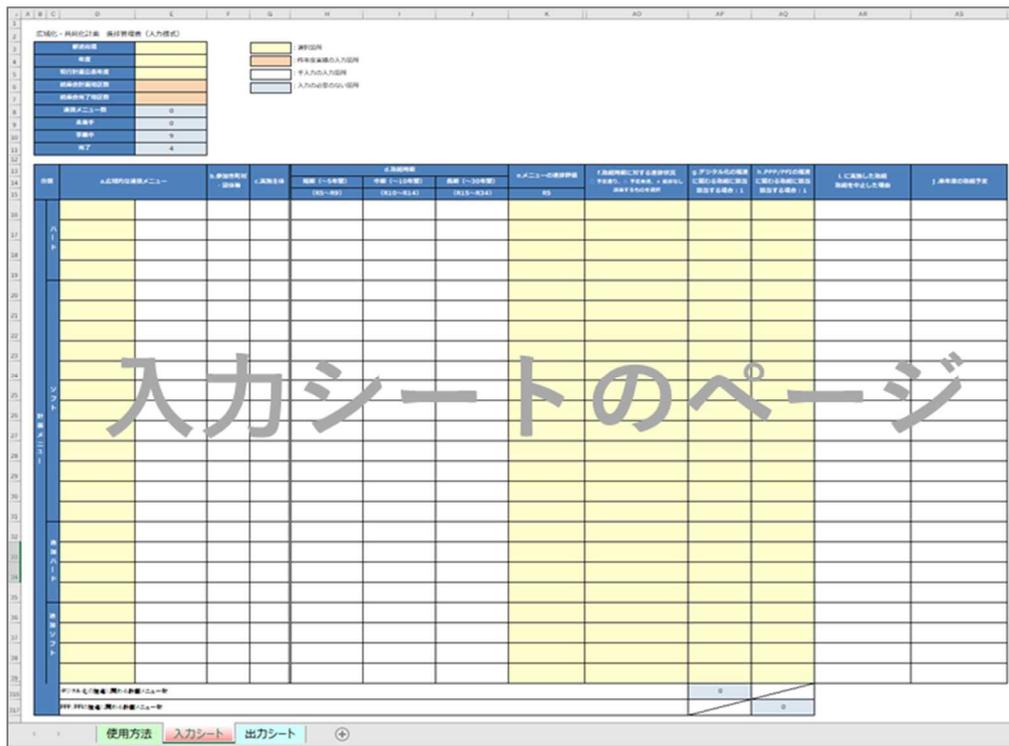


図 2 入力シート

- ・ **出力シート** . . . . データの集計結果が表示されるページです。

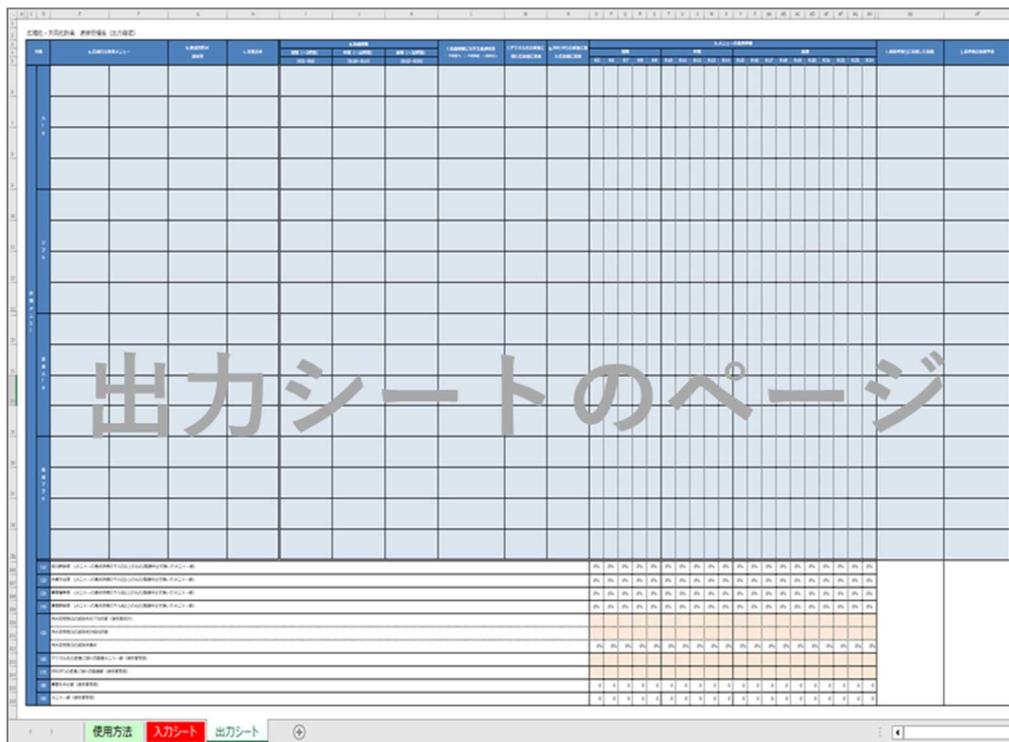


図 3 出力シート

### 3. 進捗管理シートの仕組みについて

入力シートの「e.メニューの進捗評価」を選択すると、図 4 に示す出力シートの赤枠のように表示されます。各ハード・ソフト対策メニューの進捗状況の評価にあたっては、表 1 の進捗評価の基準を参考にしてください。完全一致する内容がなくても、各事業で共通するプロセス（検討開始：D、合意形成：C、事業着手：B、事業開始：A）に該当する進捗状況を選んでください。

表 1 メニューの進捗評価基準

メニューの進捗評価	進捗状況	内容
D	検討開始	ハード対策：基礎調査、可能性調査、事業スキームの検討 ソフト対策：業務内容、活動内容、システム仕様等の検討
C	合意形成	ハード対策：合意形成、地方自治法等法律上の手続き、事業計画の変更 ソフト対策：合意形成、地方自治法等法律上の手続き、庁内事務手続き
B	事業着手	ハード対策：予算要望、基本設計、実施設計、施設建設開始 ソフト対策：維持管理業務の共同発注手続き、システム構築手続き
A	事業開始	ハード対策：統廃合完了、供用開始 ソフト対策：維持管理業務の共同発注、事務の共同化開始

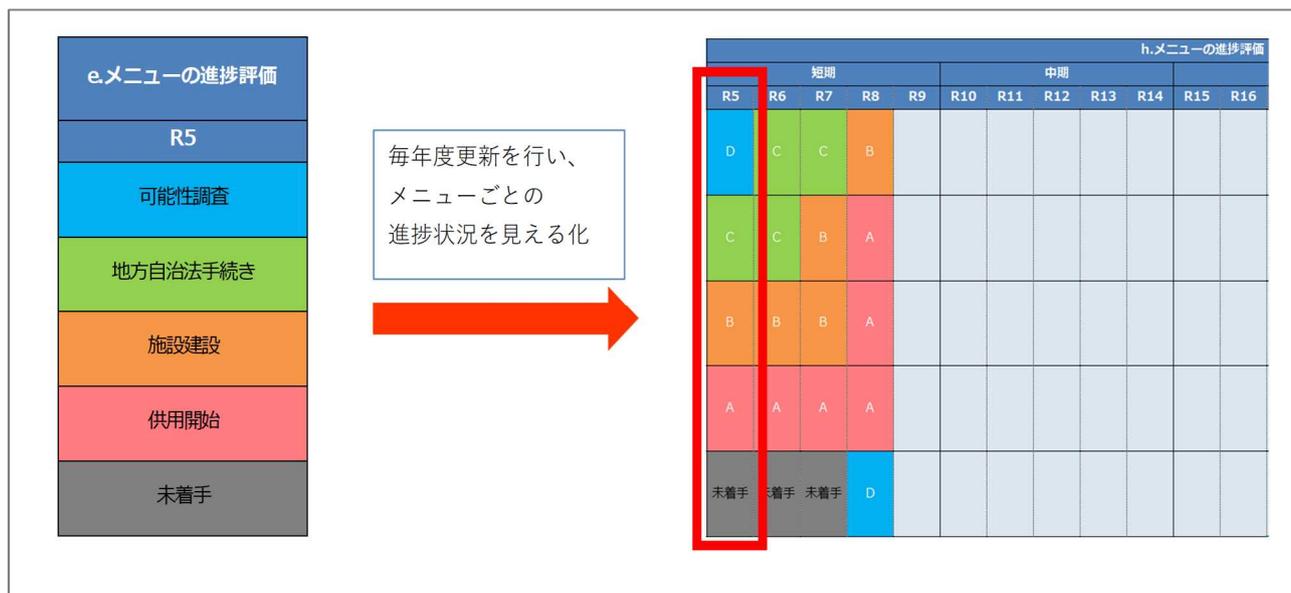


図 4 出力シート上での進捗評価の見え方

#### 4. 入力シートの使い方

##### (1) 基本情報の入力方法

都道府県	北海道	→	団体名を選択
年度	R5	→	当該年度を選択
現行計画公表年度	R5	→	計画公表年度を選択
統廃合計画地区数	8	}	それぞれ数値を入力 ※メニュー数でも地区数でも構いません。貴団体において管理する上で、適切なハード対策管理指標をご記入ください。
統廃合完了地区数	2		

図 5 基本情報の入力方法

##### (2) 連携メニュー、メニューの進捗状況の入力方法

広域化・共同化計画のロードマップのとおり、入力することを想定しています。

「j.来年度の取組予定」は貴団体において進捗管理する上で必要な場合、ご記入ください。

表 2 連携メニュー、メニューの進捗状況の入力方法 (1/2)

分類	a.広域的な連携メニュー		b.参加市町村・団体等	c.実施主体	d.取組時期		
					短期（～5年間） (R5～R9)	中期（～10年間） (R10～R14)	長期（～30年間） (R15～R34)
ハード	汚水処理施設の統廃合	集落排水施設の統廃合	〇〇〇、×××	〇〇〇	接続検討 関係機関協議	関係機関協議 計画変更、設計、施工	広域化の実施
	汚水処理施設の統廃合	し尿処理場の統廃合	〇〇〇、×××	〇〇〇	接続検討 関係機関協議	関係機関協議 計画変更、設計、施工	広域化の実施
	汚泥処理の共同化	汚泥処理の共同化	〇〇〇、×××	〇〇〇	接続検討 関係機関協議	関係機関協議 計画変更、設計、施工	広域化の実施
ソフト	維持管理業務の共同発注	保守点検業務の共同化 (処理場)	〇〇〇、×××	×××	実現可能性の検討 発注方式等の検討	合意形成 共同発注の開始	
	維持管理業務の共同発注	保守点検業務の共同化 (管渠)	〇〇〇、×××	×××	実現可能性の検討 発注方式等の検討	合意形成 共同発注の開始	
追加ソフト	台帳システムの共同化	設備台帳 (処理施設、ポンプ場)	〇〇〇、×××	×××	実現可能性の検討 発注方式等の検討	合意形成 共同発注の開始	
	災害時対応の共同化	災害時合同訓練の実施	〇〇〇、×××	×××	BCPに基づいた合同訓練の開催		
	庁内事務の共同化	排水設備指定工事業者 の事務の一元化	〇〇〇、×××	×××	実施体制の検討	共同化の実施	
	計画・調査委託の共同発注	責任技術者の事務の一元化	〇〇〇、×××	×××	実施体制の検討	共同化の実施	

項目	入力方法
a.広域的な連携メニュー	広域化・共同化メニューを選択
b.参加市町村、団体等	関係市町村を入力
c.実施主体	実施主体を入力
d.取組時期	短期・中期・長期における取組内容を入力

※赤枠内の「計画メニューの分類」「取組期間」は、貴団体のロードマップと整合した内容に修正して使用してください。

※計画メニューの分類は既存のメニューを「ハード」「ソフト」、計画策定後に新規追加となった項目は「追加ハード」「追加ソフト」等、貴団体において管理しやすい方法でご使用ください。

表 3 連携メニュー、メニューの進捗状況の入力方法 (2/2)

e.メニューの進捗評価	f.取組時期に対する進捗状況 ○ 予定通り、△ 予定未達、× 進捗なし 該当するものを選択	g.デジタル化の推進に 関わる取組に該当 該当する場合：1	h.PPP/PFIの推進 に関わる取組に該当 該当する場合：1	i.R5に実施した取組 取組を中止した理由	j.来年度の取組予定
R5					
合意形成	○				
活動内容の検討	△	1			
供用開始	×	1			
基本設計					

項目	入力方法
e.メニューの進捗評価	当該年度の進捗状況を選択
f.取組時期に対する進捗状況	取組時期に対する進捗状況を選択 (例) ○ 予定通り、△ 予定未達、× 進捗なし
g.デジタル化の推進に関わる取組	該当する場合は「1」を選択 ※
h. PPP/PFI の推進に関わる取組	該当する場合は「1」を選択 ※
i.実施した取組、取組を中止した理由	当該年度の取組内容、取組の中止理由を入力
j.来年度の取組予定	来年度の取組内容を入力 【任意入力】

入力可能な行は、300 行まであり”非表示”になっております。行数が足りない場合は、入力シートならびに出力シートで非表示になっている行を再表示させて使用してください。(301 行目以降の入力内容はアウトプットのページに反映されません。)

※ “g.デジタル化の推進に関わる取組” “h. PPP/PFI の推進に関わる取組” の項目は広域化・共同化計画における個別メニューの進捗管理を目的とせず、国土交通省として新たな政策検討を行うために確認することを目的としています。

## 5. 翌年度以降の対応

### (1) ファイルのコピー

前年度分のファイルをコピーし、ファイル名の年度を変えてください。

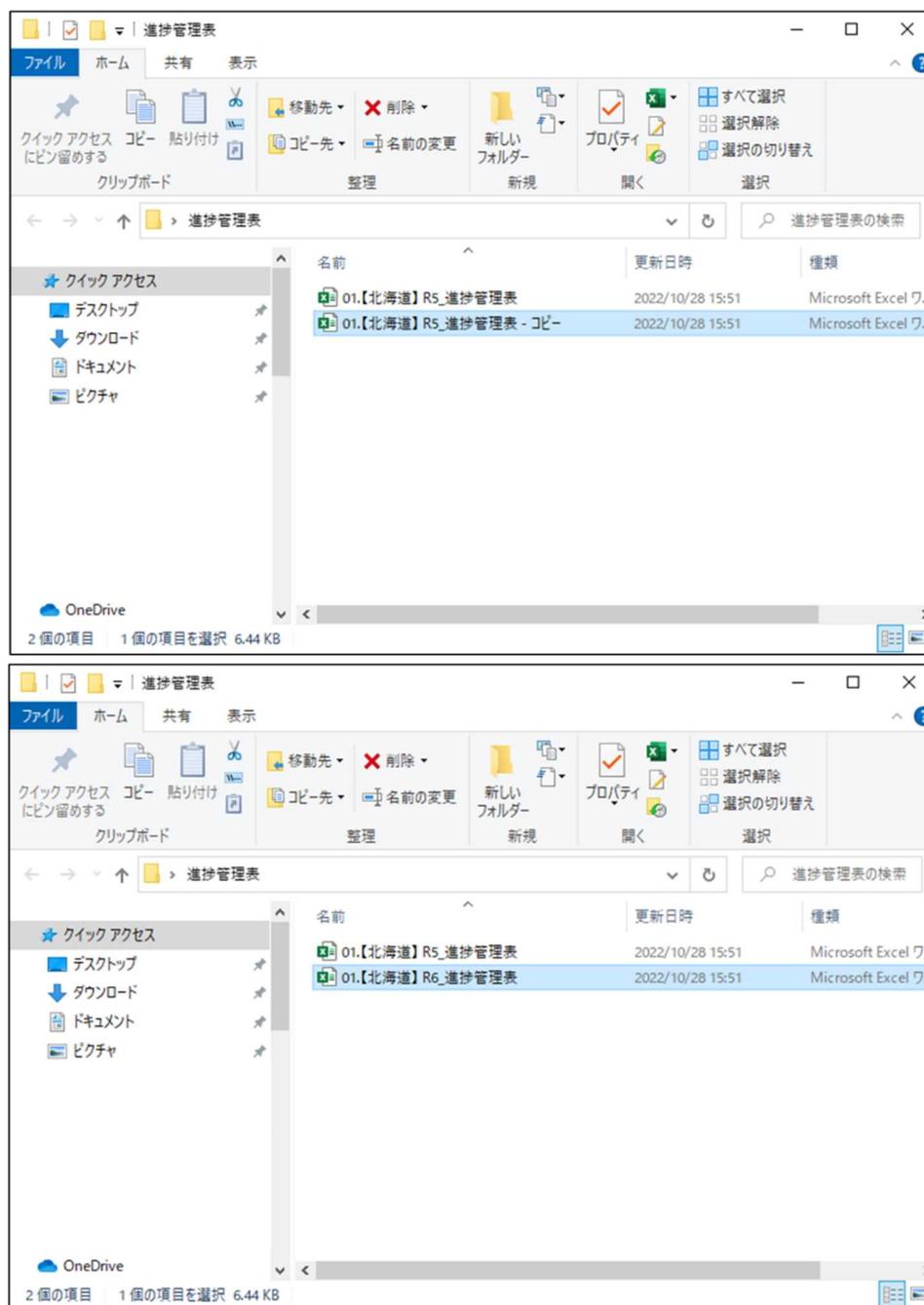


図 6 翌年度以降の対応 (ファイルのコピー)

(2) 昨年度のデータ更新

赤枠部（オレンジ着色部）の「統廃合計画地区数」「統廃合完了地区数」「デジタル化の推進に関するメニュー数」「PPP/PFIの推進に関するメニュー数」については、手動での更新が必要です。

図7、図8のとおり更新を行ってください。

※入力シートの左上

都道府県	北海道
年度	R6
現行計画公表年度	R5
統廃合計画地区数	6
統廃合完了地区数	8

1)年度を変更してください。

2)昨年度の統廃合地区数を出力シート310、311行目(薄オレンジ部分)に貼り付け、更新してください。  
※昨年度から変更があった場合は、入力シートを更新してください。

※出力シートの310、311行目

(1)	検討開始率（メニューの進捗評価のうちD以上のもの/取組中止を除いたメニュー数）	50%
(2)	合算形成率（メニューの進捗評価のうちC以上のもの/取組中止を除いたメニュー数）	10%
(3)	事業着手率（メニューの進捗評価のうちB以上のもの/取組中止を除いたメニュー数）	10%
(4)	事業開始率（メニューの進捗評価のうちA以上のもの/取組中止を除いたメニュー数）	10%
	汚水処理施設の統廃合完了地区数（過年度合計）	6
(5)	汚水処理施設の統廃合計画地区数	8

図7 翌年度以降の対応（統廃合計画地区数、統廃合完了地区数の貼り付け）

3)昨年度のデジタル化の推進、PPP/PFIの推進に関するメニュー数を出力シート313、314行目(薄オレンジ部分)に貼り付け、更新してください。

※入力シートの316、317行目

デジタル化の推進に関する計画メニュー数	2
PPP/PFIの推進に関する計画メニュー数	2

※出力シートの313、314行目

(1)	検討開始率（メニューの進捗評価のうちD以上のもの/取組中止を除いたメニュー数）	50%
(2)	合算形成率（メニューの進捗評価のうちC以上のもの/取組中止を除いたメニュー数）	10%
(3)	事業着手率（メニューの進捗評価のうちB以上のもの/取組中止を除いたメニュー数）	10%
(4)	事業開始率（メニューの進捗評価のうちA以上のもの/取組中止を除いたメニュー数）	10%
	汚水処理施設の統廃合完了地区数（過年度合計）	6
(5)	汚水処理施設の統廃合計画地区数	8
	汚水処理施設の統廃合進捗	75%
(6)	デジタル化の推進に関する取組メニュー数（過年度実績）	2
(7)	PPP/PFIの推進に関する取組数（過年度実績）	2
(8)	事業化中止数（過年度実績）	1
(9)	メニュー数（過年度実績）	11

図8 翌年度以降の対応（デジタル化の推進、PPP/PFIの推進に関するメニュー数の貼り付け）

(3) 「e.メニューの進捗評価」の入力欄を再表示させる手順

非表示になっている入力欄を表示させるには、下記の手順を参照してください。

1) R6以降の入力欄はグループされ、非表示となっています。赤枠内の"+マーク"を押して、再表示してください。

2)すべての入力欄が表示されます。

3)ページ全体を選択した状態でデータ>グループ解除を押下してください。

4)ポップアップが表示されるので「列」を選択し、OKボタンを押下してください。

5)グループ化が解除された状態となり、"+マーク"が消えます。非表示にしたい範囲を再設定するので、不要な再来年度の列～AN列を選択します。

図 9 翌年度以降の対応（入力欄を再表示させる手順 1/2）

6) データ>グループ化を押下してください。

7) ”-”マークが表示されるので押下してください。設定した不要な範囲が非表示になります。

8) 7)までの作業が終わると、該当年度の入力欄が表示されます。

9) 昨年度入力した内容から変更がある場合は赤枠内を更新をしてください。

図 10 翌年度以降の対応（入力欄を再表示させる手順 2/2）

